

「技術・家庭科」シラバス

○ 技術・家庭科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。

○ 評価の観点・方法（作品・提出物・発表・テスト等）

	「技術分野」	「家庭分野」
知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらにかかる技術を身につけている。	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身につけている。
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
主体的に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

○ 主な学習内容

「技術分野」	「家庭分野」
A 材料と加工の技術 (1) 生活や社会を支える材料と加工の技術 (2) 材料と加工の技術による問題の解決 (3) 社会の発展と材料と加工の技術 B 生物育成の技術 (1) 生活や社会を支える生物育成の技術 (2) 生物育成の技術による問題の解決 (3) 社会の発達と生物育成の技術 C エネルギー変換の技術 (1) 生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 (2) エネルギー変換の技術による問題の解決 (3) 社会の発達とエネルギー変換の技術 D 情報の技術 (1) 生活や社会を支える情報の技術 (2) ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決 (3) 計測・制御のプログラミングによる問題の解決 (4) 社会の発展と情報の技術	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活 (2) 幼児の生活と家族 (3) 家族・家庭と地域との関わり (4) 家族・家庭生活についての課題と実践 B 衣食住の生活 (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴 (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事 (3) 日常食の調理と地域の食文化 (4) 衣服の選択と手入れ (5) 生活を豊かにするための布を用いた製作 (6) 住居の機能と安全な住まい方 (7) 衣食住の生活についての課題と実践 C 消費生活・環境 (1) 金銭の管理と購入 (2) 消費者の権利と責任 (3) 消費生活・環境についての課題と実践